



リハビリテーション科 学会発表及 び症例発表等のご報告

当院のリハビリテーション科では様々な学会で定期的に研究発表を積極的に行っております。外部へ発表することでより良い治療への再考とし、地域への貢献を担っております。また、学会での学術的活動を生かし、地域連携の一環として、院内勉強会及び合同勉強会・症例検討会などへの情報提供も積極的に行っております。

【平成27年度】

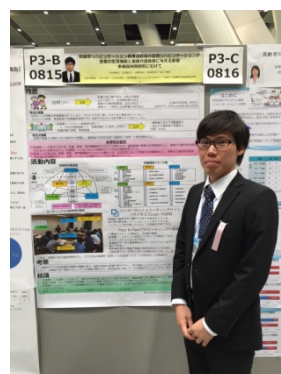
発表学会：第50回日本理学療法学会大会2015 東京

日時：平成27年6月7日

演題名：回復期リハビリテーション病棟退院後の訪問リハビリテーションが患者の生活機能と家族介護負担に与える影響

－他施設共同研究にむけて－

演者名：竹村真樹



【平成26年度】

発表学会：第1回日本地域理学療法学会集會

日時：平成27年1月24日

演題名：回復期リハビリテーション病棟における自宅生活に向けた行動変容が退院後の活動参加につながった一症例

演者名：松江駿

発表学会：第38回日本高次脳機能障害学会学術総会

日時：平成26年11月29日

演題名：高次脳機能障害者に対する作業療法集団プログラムの実践

演者名：木村麻里

発表学会：リハビリテーション・ケア合同研究大会 長崎 2014

日時：平成26年11月7日

演題名：地域高齢者の転倒恐怖感に痛みが与える影響－痛みへの生活への支障度に注目して－

演者名：平田康介

演題名：痛みを有する地域高齢者の痛みへの対処行動の違いによる特徴の検討

演者名：丸山宗一郎

発表学会：第49回日本理学療法学会大会2014 神奈川

日時：平成26年5月30日

演題名：道具把持画像による心的回転課題は反応時間を遅延させ上側頭溝と下前頭回を賦活させる－ECG研究－

演者名：平田康介

【平成26年度】

発表学会：第2回北和ブロック症例検討会

日時：平成26年11月13日

演題名：脳卒中片麻痺を呈した症例～腹筋群と足部に着目して～

演者名：山本 明日香（理学療法士）（右記写真）

演題名：脊髄腫瘍摘出術後の歩行に着目した症例

演者名：竹田 英生（理学療法士）

演題名：L1 腰髄損傷により、ADL レベルの低下を呈した一症例

演者名：三浦 敬介（理学療法士）

演題名：大腿骨人工骨頭置換術後に胸部脊柱管狭窄症を合併し歩行障害を呈した症例

演者名：植松 成隆（理学療法士）



発表学会：第1回北和ブロック症例検討会

日時：平成26年11月6日

演題名：右足関節両果骨折により歩行障害を呈した一症例

演者名：吉田 淳嗣（理学療法士）（右記写真）

演題名：左膝外側円板状半月損傷術後術側へのアプローチにより健側の疼痛が改善した症例

演者名：八田 菜摘（理学療法士）

演題名：慢性硬膜下血腫再発術後の動的バランス障害を呈した症例

演者名：済城 翔一（理学療法士）

演題名：脳梗塞を呈した患者に対し体幹の動きに着目して立ち上がり歩行が改善した症例

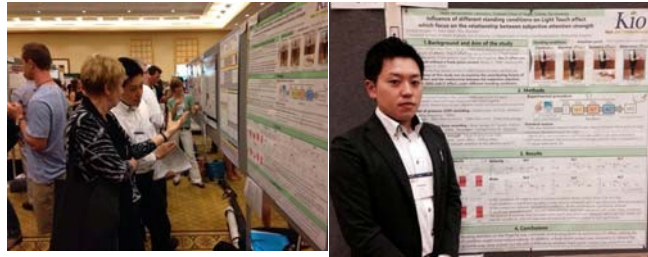
演者名：笠井 咲代（理学療法士）



発表学会：International Society for Posture & Gait Research 2014 world Congress

(In Canada)

日 時：平成 26 年 7 月 2 日
演 題 名：Influence of different standing conditions on Light Touch effect which focus on the relationship between subjective attention strength
演 者 名：石垣 智也(理学療法士)



発表学会：第 4 回日本訪問リハビリテーション協会 学術大会

日 時：平成 26 年 6 月 8 日
演 題 名：訪問リハビリテーション利用者の リハビリテーションにおける自律性に 関する調査～キーパーソンによって受ける影響～
演 者 名：宮重有貴 (理学療法士)



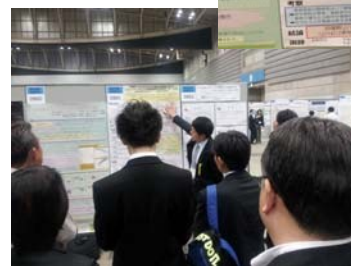
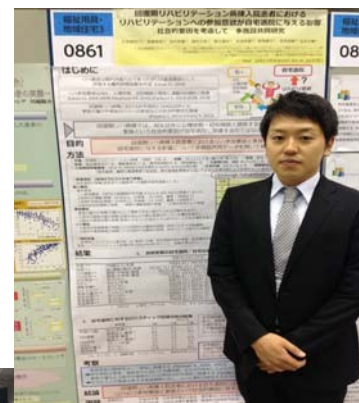
発表学会：第 49 回日本理学療法学会 学術大会

演 題：Light Touch 効果は指先への注意のみでも得られ複合要因で成立している

発 表 者：石垣 智也(理学療法士)
発 表 日：平成 26 年 5 月 30 日

演 題：回復期リハビリテーション病棟 入院患者におけるリハビリテーション への参加意欲が自宅退院に与える影響 社会的要因を考慮して - 多施設共同研究 -

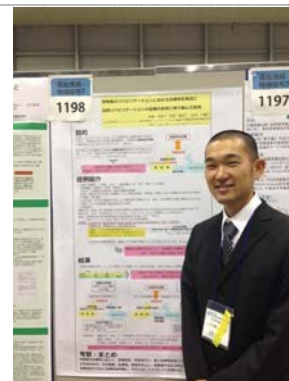
発 表 者：石垣 智也(理学療法士)
発 表 日：平成 26 年 5 月 31 日



発表学会：第 49 回日本理学療法学会 学術大会

演 題：利用者のリハビリテーションにおける自律性を視점에訪問リハビリテーションの目標の共有に取り組んだ症例

発 表 者：宮重有貴 (理学療法士)
発 表 日：平成 26 年 5 月 31 日



発表学会：第 49 回日本理学療法学会 学術大会

演 題：Light Touch 効果は指先への注意のみでも得られ複合要因で成立している
発 表 者：石垣 智也(理学療法士)
発 表 日：平成 26 年 5 月 30 日

発表学会：第 12 回姿勢と歩行研究会

演 題：Light touch 効果に関連する要因の検討

-自覚的注意強度とパワースペクトル解析を用いて

- 発 表 者：石垣 智也(理学療法士)

発 表 日：平成 26 年 3 月 8 日

【平成 25 年度】

発表学会：第 48 回 日本理学療法学会

日 時：平成 25 年 5 月 24 日（金）～26 日

（日）演 題 名：地域在住高齢者の胸椎アラ
イメント

および胸椎の可動域と胸郭可動性の関

係 演 者 名：理学療法士 坂本 梨花（筆頭）

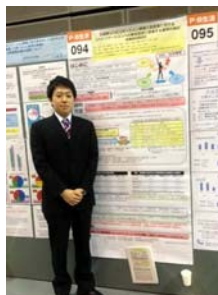


発表学会：第 48 回 日本理学療法学会

日 時：平成 25 年 5 月 24 日（金）～26 日（日）

演 題 名：回復期リハビリテーション病棟入院患者におけ
る リハビリテーションへの参加意欲に関連する
要因の検討 多施設共同研究

演 者 名：理学療法士 石垣 智也（筆頭）



発表学会：第 23 回 奈良県理学療法士学会

日 時：平成 25 年 6 月 30 日（日）

演 題 名：脳卒中患者のリハビリテーションへの参加意欲
と FIM の改善の差異に関する検討
-認知障害の有無での比較-

演 者 名：理学療法士 泉 真里恵（筆頭）



発表学会：The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT Congress 2013 (In
Taiwan) 日時：平成 25 年 9 月 5 日（木）～9 日（月）

演 題 名：REHABILITATION PARTICIPATION
AMONG INPATIENTS WITH
COGNITIVE IMPAIRMENT
AT REHABILITATION HOSPITALS
IN JAPAN -A MULTI-CENTER STUDY-

演 者 名：Tomoya Ishigai, Physical therapist
(First author)



発表学会：第 53 回近畿理学療法学会

会 日時：平成 25 年 11 月 3 日（日）

演 題 名：回復期リハビリテーション病棟入院患者における院内転倒事
故と リハビリテーションへの参加意欲の関連

演 者 名：理学療法士 石垣 智也（共同）

発表学会：リハビリテーション・ケア合同研究大会 千

葉 2013

日 時：平成 25 年 11 月 22 日（金）～23 日
（土） 演 題 名：家族の関わりがリハビリテ
ーションへの

参加意欲と帰結に及ぼす影響 回復
期リハビリテーション病棟における
多施設共同研究

演 者 名：理学療法士 石垣 智也（筆頭）



症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討

会 日 時：平成 25 年 11 月 15 日（金）・22 日（金）

発表者：理学療法士 北井 梨恵子 理学
療法士 平田 康介 理学療法士
丸山 宗一郎

発表学会：保健医療学学会

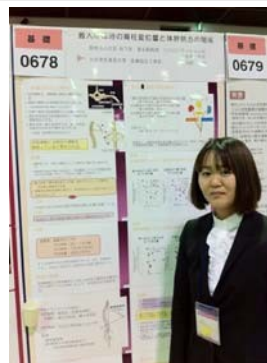
日 時：平成 25 年 12 月 1 日（日）

演 題 名：体幹屈伸時の体幹と胸腰椎の関係-地域在住高齢者を対象とした座位での検
討- 演 者 名：理学療法士 坂本 梨花（筆頭）

【平成 24 年度】

発表学会：第 47 回日本理学療法学会

演 題 名：最大呼吸時の脊柱変位量と体幹筋力の関
係 演 者 名：理学療法士 坂本 梨花（発表
者）



発表学会：第 3 回保健医療学学会学術集会

演 題 名：地域在住高齢者における胸椎可動性と呼吸機能との関
係 演 者 名：理学療法士 坂本 梨花（発表者）

発表学会：第 22 回奈良県理学療法士学会

演 題 名：患者とのコミュニケーションにおけるリハビリテーションスタッフの自己効力
感 演 者 名：理学療法士 宮重有貴（発表者）

助成研究：日本理学療法士協会 理学療法にかかわる研究助成

演 題 名：回復期リハビリテーション病棟入院患者のリハビリテーションへの意欲が帰結へ及ぼ
す影響—社会的要因を考慮して—
演 者 名：理学療法士 石垣智也（発表者）

助成研究：大同生命厚生事業団 地域保健福祉研究助成研究

演 題 名：回復期リハビリテーション病棟入院患
者におけるリハビリテーションへの意欲が
日常生活機能改善および在宅復帰に与え
る影響についての多施設共同研究
演 者 名：理学療法士 石垣智也（発表者）



症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：大腿骨頸部骨折を呈した症例～在宅復帰に向けて～

発表者名：理学療法士 福森絵梨（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：脳挫傷による高次機能障害を呈した症例 家庭復帰に向けた理学療法士としての介入

発表者名：理学療法士 中島奨太（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：右視床出血により歩行障害を呈した症例 発表者

名：理学療法士 松江駿（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：右被殻出血により重度高次脳機能障害を呈した症

例 発表者名：理学療法士 他谷俊紘（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：左視床梗塞により右片麻痺を呈した症例～安全な屋内移動の獲得に向けて

～ 発表者名：理学療法士 柳井沙希（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：急性動脈閉塞症後に左被殻出血を発症し右片麻痺を呈した症

例 発表者名：理学療法士 小牧瑠奈（発表者）

症例発表：奈良県理学療法士協会 北和ブロック症例検討会

演題名：右被殻出血により左片麻痺を呈した症例 発表者

名：理学療法士 永井亜也加（発表者）